

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2022.04.No296

4月号

目次

会長再任にあたり	1
特集 定時総会報告	2
一級建築士試験合格者の声	4
二級建築士試験合格者の声	5
西から東から「網走のまち」	6
Coffee Break	7
information	8

URL <https://www.h-ab.com/>



会長再任にあたり

一般社団法人北海道建築士会 会長 高野 壽世

暦の上では春とは言え、まだまだ肌寒い日が続いておりますが、会員の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、皆様には日頃から本会の運営にご支援、ご協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、この度、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面決議とした定時総会、その後の理事会におきまして、会長に選出されましたので、一言ご挨拶させていただきます。

数十年前、宇宙から夜の地球を撮影した映像を目にした時、そこには光溢れる都市が連なる地と一方では真暗な大地が広がっていました。我が国の豊かさは、その真暗な大地に暮らす人々がいるからこそ成立しており、それらの人々が必然的に私たちと同様な生活をした時、地球環境はどうなるのかと思ったものです。今や、その結末はグローバルな経済活動とあいまって地球環境問題として私たちに突き付けられています。ここ数年は地球規模で異常気象による様々な自然災害が発生し、我が国においても集中豪雨などにより、全国各地で甚大な被害が生じており、まさに気候の変調は待たないとなりました。今、世界各国がなんとか連携し2050年のカーボンニュートラル化を目指しておりますが、私たちの建築分野においても計画、設計、施工、維持管理等、それぞれのカテゴリーのなかでの取組みが求められています。

我が国の人口は2053年には一億人を割るといわれておりますが、札幌市の人口が今年に入って減少に転じたと報道がありました。すでに、地域においては、人口減少による経済並びに公共インフラの縮小が始まっており、札幌市においても、今後は市街地周辺部の人口減少による空き家の増加、交通網の再整備などが大きな課題となってくると考えられます。

今回のコロナ禍では、私たちは国産の機材だけで

は完成品にならないものがいかに多いかを実感し、日本全体でもの作りができない状況に暗澹たる思いになりました。私たちの足元の建築分野においても、道内の建設会社がここ10年間で2600社も減少となるなど同様な状況下となっております。

今こそ、私たちは衣食住の住を担う建築技術者として、地域における建物造りについて、それぞれの施工分野ごとの技術者がいるのか？そして生業として成り立っているのか？技術が継続していく仕組みになっているのか？等々に思いを巡らせなければなりません。やはり、地域で住民が安心して暮らすためには、建物の誕生から解体までの様々なプロセスをカバーできる建築業態がその地域に整っていることが必要です。地域の経済活動において建築行為でその一端を担う私たち建築士は、発注、設計、施工それぞれの立場で、そのような仕組みの維持、あるいは再構築を促す運動を是非とも進めていきたいと思っております。

今年度は、4号特例の変更など建築基準法改正への対応、脱炭素社会に向け中大規模建築の木材の利用促進の取組、業務報酬基準告示98号の改正に向けての調査等が喫緊の課題となっております。特に4号特例の変更は、耐震偽装に係わる基準法改正の際、その運用をめぐる官製不況といわれるぐらい景気が低迷したことから、十分な注視が必須であります。

2020年早々からの新型コロナウイルス感染症の拡大により、集まることで成り立っていた社会経済活動が否定され、本会の活動も大きな変化を余儀なくされました。コロナの感染状況は予測もできませんが、今期は、この二年間の様々な経験を基にICTの活用はもとより、会員がリアルに参集できる形態・仕組みも視野に事業を進めてまいりたいと考えております。会員の皆様には一層のご協力をお願い申し上げます。

令和4年定時総会（書面開催）報告

「令和4年定時総会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、招集による総会を取りやめ、定時総会の目的である事項及びそれらを書面による決議とすることについて代議員の皆様へ提案し、全ての代議員から同意が得られたため、下記提案について可決されました。

書面決議日：令和4年3月18日（金）

提案事項（定時総会の目的である事項）

- 〔議案第1号〕 令和3年 一般会計事業報告及び収支決算（案）
- 〔議案第2号〕 令和3年 特別会計事業報告及び収支決算（案）（監査報告）
- 〔議案第3号〕（一社）北海道建築士会定款の改定（案）
- 〔議案第4号〕 役員の変更

議案第1号～2号の主だった内容は以下のとおり

〔議案第1号〕

◆令和3年 一般会計事業報告

〔委員会所管事項〕

◎ 総務・企画委員会

- ・関係機関との意見交換会等の実施
11/15 北海道と関係7団体意見交換会出席
- ・専攻建築士制度等に関する事項
申請 25名 領域 29領域
3/9 専攻建築士審査評議会（書面決議）
- ・建築士会継続能力開発（CPD）制度の促進
CPD参加登録者 949名
7/15 CPDプログラム審査評議会（web開催）
及び同部会の開催（12回）
- ・全道大会（網走大会） 中止
- ・全国大会「広島大会」 東京で開催
- ・表彰の実施
10/28 北海道会長表彰 ホテルガーデンパレス
連合会会長表彰者 5名
- ・赤レンガ建築賞への共催等

◎ 事業委員会

- ・「防水技術ウェブセミナー2021」
- ・「既存住宅状況調査技術者講習」
新規 4会場で開催 受講者 計24名
更新 札幌会場とオンライン講習 受講者 136名

◎ 情報委員会

- ・会誌「北海道建築士」（281号～292号発行）
- ・ホームページの運用

◎ まちづくり委員会

- ・地域におけるまちづくり活動の推進と支援
- ・10/23 まちづくりフォーラム・オンラインの開催
- ・高校生建築デザインコンクールの実施
- ・高校生建築甲子園の実施（応募2枚）
- ・北海道景観整備機構の運営

◎ 被災地応急支援委員会

- ・応急危険度判定地区協議会への協力
8/6 北海道震災建築物応急危険度判定連絡協会総会（書面開催）
- ・応急危険度判定ネットワークの構築
- ・会誌9月号へ「防災の日」掲載

◎ 青年委員会

- ・3/27 全道青年委員会連絡会議（web開催）

◎ 女性委員会

- ・全道の女性会員とのネットワークづくりの活動
- ・Zoom座談会
- ・広報誌の編集
- ・日本建築士会連合会委員派遣 12回（web実施）
- ・7/17 全国女性委員長会議（web実施）

◎ 会員増強特別委員会

- ・新規入会者の促進を目的とする建築士会CPD制度活用の周知を実施

◎ ヘリテージマネージャー特別委員会

- ・北海道ヘリテージマネジメント専門職育成講座 計13回
- ・8/28 ヘリテージアドバイザー研修会オンライン 参加者数 24名
- ・10/30 10/31 『第1回フォローアップ講習会 in 美幌』
参加者数：1日目 14名 2日目 11名
- ・12/11 『第2回ヘリテージ・フォローアップ講習会 in 小樽』
参加者数：講演会 32名（うちオンライン2名）
現場見学会 33名

◎ BIM推進特別委員会

- ・BIMの普及支援
- ・BIMセミナー（全9回）
2/16 参加者60名程度 3/16 参加者50名程度
4/20 参加者60名程度 5/18 参加者50名程度
6/18 参加者40名程度 7/20 参加者40名程度
9/21 参加者40名程度 10/22 参加者30名程度
11/16 参加者30名程度

〔事務局所管事項〕

区 分	受験者数	合格者(合格率)
二級	学科	895 287(32.0%)
	製図	381 155(40.6%)
木造	学科	9 2(22.2%)
	製図	3 1(33.3%)
一級	学科	999 109(10.9%)
	製図	245 73(29.8%)

- ・一級建築士登録等の業務
新規 60件 事項変更等 147件
- ・二級・木造建築士登録等の業務
新規 125件 事項変更等 154件
- ・応急危険度判定士認定関係 12月末有効認定者数 2,810名
応急危険度判定士認定講習会
1月～2月 書面による自宅学習 287名
10月～12月 書面による自宅学習 受講者 234名
- ・建築士定期講習
17会場開催 受講者 1,122名
オンライン講習 受講者 42名
- ・監理技術者講習
3会場開催：受講者 104名
- ・「第54回建築基準法講習会」中止

〔議案第2号〕

◆令和3年 特別会計事業報告

- ・北海道建築士会地域貢献活動センター事業報告
地域貢献活動基金事業助成申請 無し

〔議案第3号〕

◆（一社）北海道建築士会定款の改定（案）

【改定】（役員の設定）

第20条 この法人に、次の役員を置く

(1) 理事 17名以上 25名以内

〔議案第4号〕

◆役員解任（案）

任期満了に伴う役員の変更が行われ、令和4・5年の役員として、理事24名、監事2名が選出された。

令和4・5年 (一社)北海道建築士会 役員名簿

役 職	支部名	氏 名	役 職	支部名	氏 名	役 職	支部名	氏 名
会 長	札 幌	高野 壽世 再任	副 会 長	札 幌	久島 正嗣 新任	副 会 長	苫小牧	佐藤 芳則 再任
統括理事	札 幌	針ヶ谷拓己 再任	統括理事	函 館	山内 一男 再任	統括理事	北 見	庵 敏幸 再任
統括理事	旭 川	大田 幸広 新任	専務理事	札 幌	勝村 正秀 新任	常務理事	札 幌	牛田 健一 再任
常務理事	札 幌	西岡 誠 再任	常務理事	札 幌	工藤美智子 新任	常務理事	苫小牧	中原 茂人 再任
理 事	日 高	高橋 幸二 再任	理 事	千 歳	丹波 泰哉 再任	理 事	日 高	森 勝利 新任
理 事	札 幌	清水 浩史 再任	理 事	小 樽	金谷 祐 新任	理 事	北 見	佐々木強志 新任
理 事	札 幌	後藤 朋恵 新任	理 事	札 幌	川原 昌彦 再任	理 事	札 幌	大門 浩之 新任
理 事	十 勝	鈴木 徹 新任	理 事	釧 路	香川 博 再任	理 事	士 別	寺島 義晴 新任
監 事	恵 庭	伊藤 隆英 新任	監 事	小 樽	本間 恵美 再任			

貸借対照表

令和3年12月31日現在

一般社団法人 北海道建築士会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	88,792,730	70,778,160	18,014,570
未収金	3,064,669	2,558,672	505,997
前払金	0	500,000	△ 500,000
貯蔵品	565,121	709,817	△ 144,696
立替金	507,484	406,540	100,944
前払費用	446,044	279,083	166,961
流動資産合計	93,376,048	75,232,272	18,143,776
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	4,242,432	9,421,981	△ 5,179,549
財政調整資金積立預金	48,866,325	46,389,569	2,476,756
特定資産合計	53,108,757	55,811,550	△ 2,702,793
(3) その他固定資産			
保証金	121,000	0	121,000
その他固定資産合計	121,000	0	121,000
固定資産合計	53,229,757	55,811,550	△ 2,581,793
資産合計	146,605,805	131,043,822	15,561,983
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	8,890	46,325	△ 37,435
未払費用	429,831	491,361	△ 61,530
前受金	5,317,600	4,323,050	994,550
前受会費	23,547,000	23,123,000	424,000
預り金	606,454	696,736	△ 90,282
仮受金	0	45,000	△ 45,000
流動負債合計	29,909,775	28,725,472	1,184,303
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,242,432	9,421,981	△ 5,179,549
固定負債合計	4,242,432	9,421,981	△ 5,179,549
負債合計	34,152,207	38,147,453	△ 3,995,246
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
負担金	△ 1,500,000	△ 1,500,000	0
寄付金	50,000	50,000	0
指定正味財産合計	50,000	50,000	0
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	112,403,598	92,846,369	19,557,229
	48,866,325	46,389,569	2,476,756
正味財産合計	112,453,598	92,896,369	19,557,229
負債及び正味財産合計	146,605,805	131,043,822	15,561,983

収支計算書

令和3年1月1日から令和3年12月31日まで

一般社団法人 北海道建築士会

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会 費 収 益	72,650,000	71,118,750	△ 1,531,250
事 業 収 益	20,552,000	17,438,956	△ 3,113,044
受 託 収 益	21,353,000	19,758,924	△ 1,594,076
助 成 金 収 益	40,905,000	4,671,493	△ 36,233,507
退職給与引当金戻入	0	0	0
受 取 補 助 金 等	0	0	0
雑 収 益	23,480,000	2,594,528	△ 20,885,472
経常収益計	178,940,000	115,582,651	△ 63,357,349
(2) 経常費用			
事 業 費	119,470,000	71,935,587	△ 47,534,413
講 習 会 等 費	2,034,000	672,566	△ 1,361,434
二級・木造建築士登録等業務費	1,033,000	1,031,560	△ 1,440
継続能力開発制度費	519,000	518,371	△ 629
専攻建築士制度費	178,000	154,722	△ 23,278
その他事業費	6,261,000	5,289,542	△ 971,458
広 報 ・ 情 報 費	7,595,000	6,508,171	△ 1,086,829
大 会 関 係 諸 費	1,996,000	1,584,252	△ 411,748
委 員 会 活 動 費	13,914,000	3,265,572	△ 10,648,428
受 託 事 業 費	22,541,000	21,331,877	△ 1,209,123
助 成 金 費	9,459,000	7,948,804	△ 1,510,196
助 成 金 費	6,254,000	1,367,240	△ 4,886,760
需 要 費	21,585,000	20,266,246	△ 1,318,754
雑 費	26,101,000	1,996,664	△ 24,104,336
管 理 費	75,873,000	29,229,384	△ 46,643,616
人 員 費	10,282,000	1,016,986	△ 9,265,014
会 議 費	2,429,000	1,097,003	△ 1,331,997
旅 費 交 通 費	5,933,000	1,297,014	△ 4,635,986
需 要 費	2,489,000	2,368,397	△ 120,603
対 外 費	3,404,000	1,346,001	△ 2,057,999
雑 費	100,000	81,363	△ 18,637
連 合 会 費 等	51,236,000	12,869,620	△ 38,366,380
事業活動支出計	195,343,000	101,164,971	△ 94,178,029
事業活動収支差額	△ 16,403,000	14,417,680	30,820,680
2. 投資活動収支の部			
(1) 投資活動収入	5,688,000	6,101,923	413,923
特定資産取崩取	5,688,000	6,101,923	413,923
(2) 投資活動支出	2,847,000	3,399,130	552,130
特定資産取得支	2,847,000	3,399,130	552,130
投資活動収支差額	2,841,000	2,581,793	△ 259,207
3. 財務活動収支の部			
(1) 財務活動収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
(2) 財務活動支出	0	0	0
他会計支出計	40,000	40,000	0
予備費支出	12,168,000	0	△ 12,168,000
当期一般正味財産増減額	△ 25,770,000	16,959,473	42,729,473
前期繰越収支差額	25,770,000	46,506,800	20,736,800
次期繰越収支差額	0	63,466,273	63,466,273

監査の目

令和3年1月1日から12月31日までの収支及び財産の状況、理事の職務執行について、法令及び定款に従い適正に処理、運営されていることを確認しました。

令和2年から続く新型コロナウイルス感染症は、未だ終息の兆しが見えません。各委員会活動は、対面開催ができずにいる一方で、Zoomを使用したオンライン開催は、充実した内容でした。

会員増強特別委員会では、C P D制度活用案内の送付が、新規入

会へと繋がったこと、B I M特別委員会のオンラインセミナーに、延べ400人も参加があったことは、今後にも期待が膨らみます。

令和3年からの会費の値上げに伴い新設された「北海道建築士特別活動費」の助成が決まり、収入増を新しい活動に使える仕組みができました。しばらくはウィズコロナの状況が続きますようですが、ますます有意義な活動が増えることを期待しています。

本間恵美・久島正嗣 談

一級建築士試験を振り返って

稲野辺 豊 (函館支部)



一級建築士試験はがむしゃらに勉強していれば何とかかなるだろうと思っていました。しかしそれは大きな間違いでした。

学科の勉強をしたときはとりあえず書いて覚えようと思い必死に過去問題をノートに書き写すという勉強をしていましたが、情報量が多いため、それに伴いノートに書き写すことも多く、その割には全然頭に入ってきません。また、2級建築士の免許取得後5年後ということもあり、モチベーションを保つのにとても大変でした。1回目の学科の試験は見事落ちてしまいました。これでは一生合格することはできないと感じ、どうすれば良いか悩みました。まず始めたことは、勉強を継続することが大事だと思い、自分は3回で合格できなければ一級建築士になる資格はないというプレッシャーと合格したら何をしたいのかを考えてみました。そうすると、何かやらないといけないという気持ちになり必然的に体が机に向かっていました。また、長期的に勉強をしないといけないと思い、睡眠時間を削ることができませんでした。なので、平日の夜は仕事から帰って2時間しか勉強できませんでした。それを補うため、たまたま市電通勤していたこともあり、通勤の往復1時間をスマホアプリで簡単な問題を解き、間違えて理解していない問題を夜に勉強することにより、多くの問題を解くことができ理解することができました。また、構造力学の計算問題は朝少し早めに起床し、

1, 2問を理解できるまで何度も問題を解きました。学科試験当日は、「人生で一番頑張ったのだから大丈夫」と暗示をかけ試験に挑みました。それでも最初の計画を解いた段階で心が折れそうになりましたが何とか他の科目で挽回することができ、合格ラインに達することができました。

8月から製図の授業が始まり、試験が10月なので2か月しか勉強する期間がなく、正直、自分の実力では2か月で合格できないと思っていました。今回不合格でも必ず次に繋がると思い全力で授業を受け、最低でも完成図を30枚引いてやると決めていました。製図の授業を受講している人は私の他にもいました。皆、製図経験者で初心者の私にわからないことや早く引くコツ等をたくさん教えてくれました。製図に関しては沢山の図面を引くことよりも仲間の大切さをとても実感しました。それでも図面はエスキスを含め、50枚以上は引いていたと思います。

当日はあまり緊張せず受験できたと思います。試験会場に行くとき廊下の両側に記述の問題を見ている人がほとんどで異様な雰囲気でした。自分は知り合いの人がいないか探しに行き、少し、お話しすることができたのでだいぶ落ち着くことができたと思います。試験自体はエスキス・記述で2時間、作図で4時間、見直しで30分くらいの配分で図面を完成でき良かったと思います。

一級建築士に合格したということは、自分にとって建築士としてスタートラインに立てたという事で沢山のひとと出会い、見聞、経験をし、改めて自分がどういう建築をしたいのか考え、少しでも函館の街に貢献できれば良いかなと思います。

一級建築士への道のり

黄田 信行 (上富良野支部)



数年前から挑戦し続けていた一級建築士試験にようやく合格することができました。

振り返れば一級施工管理技士の取得から始まり、勉強の習慣が身に付いている内にと日建学院の営業担当に勧められたのが始まりでした。施工管理技士試験を苦勞したが1年目で合格出来たことからしっかりと課題をこなし勉強すれば合格できると思いました。が学科1, 2年目は数点足りず不合格… 3年目にして学科試験をパスし、設計製図試験に進むことができました。製図試験においてはプランがうまく納まらず泣きそうになりながらも書き上げ図面完成したが図面内容が薄く1, 2年目と不合格。学科免除の効力が失う3年目の、今年こそはの気持ちで試験に挑み、図面の手応えを感じつつ、合格発表を待ったものの合格者の中に自分の名前が無かった時の絶望感は忘れられません。一度は心は折れましたが今まで勉強してきたことを無に戻したくない思いと、一級建築士になるという固い決意で学科からの再挑戦を決めました。試験制度も変わり学科試験の難易度も年々上がっていることも感じつつ、なんとか学科を突破し、4回目の設計製図試験でようやく合格することが出来ました。

試験勉強を通じて感じたことはモチベーションが

下がったとき、どれだけ自分に厳しくし気持ちを維持できるかが必要で、絶対に合格をするという強い決意をもって取り組むことが重要だと深く感じました。また、合格発表当日は家族はもちろん職場、友人からお祝いの言葉を頂き多くの方々から支えられていたからこそ合格することが出来たと思感謝に堪えません。

これからは一級建築士という資格を手にしたことに満足することなく、新たな一歩として自身の成長に励むと共に一級建築士としての責任を持ち、建築士の肩書に恥じぬよう日々研鑽を積んでいきたいと思っています。



二級建築士

松浦 勇氣 (恵庭支部)



はじめまして、この度北海道建築士会より、二級建築士試験合格者の声として、原稿依頼を頂きました、恵庭市役所建設部建築課の松浦勇氣と申します。

今回依頼を頂きましたが、このような形で何かに寄稿することは私自身初めてで、何を書くかすごく迷いました。二級建築士試験合格者の声という事なので、自己紹介がてらに、私のこれまでの経験と建築の道のりについて紹介させていただきます。これを見た方が少しでも私に親しみを持っていただくと幸いです。

私は旭川工業高等学校(建築科)に3年間在学し、建築の基礎についていろいろ学びました。ただ、当時は特に建築に興味はなく、なんとなく過ごした思い出があります。

卒業後は札幌にて現場監督業務を3年間ほど民間の会社で経験しました。初めての社会人で初めての現場はホテルの全リノベーション工事でした。現場・仕事・職人さんとのコミュニケーション全てが私にとっては新鮮であり、学ぶことがたくさんでした。突貫工事で夜中間わず、当時の先輩、上司と現場で走り回ったことは今でも覚えております。また、十代後半であった私は、少々遊び盛りで、当時の現場所長にはいろいろご迷惑をかけ、お世話になったことは今でも感謝しております。大変だった分、完成した時、試泊した時は仕事に大いにやりがいを感じることが出来ました。今でもホテル前を通るとき

は建物内部が今どのように使われていて、どんな感じになっているのかが気になり、中を少し覗きたい気持ちになります。このころから、少しずつ私の中で社会人としての考え方や、建築に対する接し方が変わってきました。

その他に病院の新築工事、庁舎の耐震改修工事等の現場に携わることが出来ました。どの現場も係員で現場管理をメインに仕事しましたが、工事の種類が改修から新築まで、毎回全然違う工事であった為、私にとっては大きな経験となり、有意義な3年4か月間でした。

民間の会社を辞めてからは縁あって恵庭市役所に内定を頂き、現在は恵庭市の建築技術職として仕事をさせて頂いています。役所ではまだ、建築課しか経験しておりませんが、仕事内容は前職の監督業務を大きく広げたような感じであり、公共施設の修繕関係をメインに設計から監督業務まで一通り行っております。私自身も役所でいろいろ現場を経験しましたが、設計から携わっていることもあり、度々現場に行った際には現場代理人から資格の有無を聞かれることがありました。資格についてはいつかはと思っていましたが、現場によっては資格有り無しでは大きく信用度が違うことに気づかされました。また、役所内の諸先輩方の資格取得率の多さもあり、私も主事を目標に建築士資格取得を決めました。周りのサポートもあり、今回合格するはこびとなりました。

今後は建築士会のイベント等の参加も考えており、仕事、仕事以外でお会いした際、気軽に声掛けてください。よろしく申し上げます。

二級建築士、次のステップ

隅谷 耕太郎 (日高支部)



合格発表から2ヶ月があっという間に過ぎました。合格を確認した日はなんだか一日中ふわふわした気持ちでいたことを覚えています。職場の上司や先輩に報告し「おめでとう！」と言われ、合格を実感しました。そして、いつも応援して頂いている建築士会の大先輩にも報告の電話をしたときに「二級建築士になれました！」と報告したところ、「まだ合格しただけで、登録しないと二級建築士と名乗れないぞ」とイエローカードを頂きました。まだ免許証が来ていないので、今は免許が来る日を楽しみに待っています。二級建築士合格者の声として合格までの流れみたいなことについて書こうと思います。

今回は3回目の受験でした。令和元年が初受験学科で不合格。2回目が令和2年で構造が基準点とどこぞ不合格。3回目の今回ですが、「2度あることはなんとやら」にはなりたくない、「3度目の正直にする！」と心に決めて勉強しました。

そしてなんとか学科試験を突破しました。

今まで学科で止まっていたので、今回初の製図試験となりました。令和3年度の設計課題が歯科併用住宅RC造でした。この課題は平成9年にも設計課題として出ていたのですが、なんとそれが私の生まれた年で、これはなんかの縁だなと思いながら日建

学院に通い、図面を書きまくりました。二級の製図では木造の矩計を書くのが一番つらいとよく聞いていたので、RCでよかったです。製図試験当日、問題用紙を見ると、全く予想もしていない傾斜地の問題でした。設計課題であらかじめ出ていることはあったみたいですが、本番でいきなり出たのは初めてだそうで、15分くらい頭が真っ白になりました。それでもなんとか落ち着きを取戻し、ひとまずいつも通り書いて書き切りました。難しい試験で自信は無かったですが、書き切ったから希望はがあると、合格信じて発表を待ちました。そしてなんとか合格できて三度目の正直になりました。

これからは二級建築士になるので、昨今推し進められている低炭素化や法令、実務に精通し、一人前の建築士になれるようにがんばっていきたいと思います。

最後に今回合格できたのも建築士会の先輩方や職場の方、皆さんのお心遣いや応援のおかげで合格できました。本当にありがとうございます。

今年は次のステップの一級建築士に挑戦したいと思います。一級建築士に合格した方の記事を読んでいたら、モチベーションがとても大事と書いてありました。難しい試験なので「一級建築士になる！」という気持ちを切らさずがんばっていきたいと思います。長文でしたが読んでいただきありがとうございます。



情報委員会 立花 智亜喜 (網走支部)

令和4年より情報委員会副委員長を仰せつかりました。初めての参加で副委員長という大役をいただき、大変恐れ多く感じておりますが、事務局・委員の皆さまへご助言を乞いながら、有意義な活動をしていきたいと思っております。

このたび本号への寄稿依頼を受け、情報委員会から発信する「西から東から」というページをどのように構成しようか悩みました。

真っ先に思い浮かんだのは、地元・網走市の紹介でしたが、2020年の第44回網走大会（まほろしの大会）の前に網走支部から様々な形で網走市のご紹介を重ねてきましたので、今回は情報委員会に就いたのを機に「建築士会での情報発信とその目的」について私なりの考えをしたためてみました。

～ コミュニティの変化 ～

新型コロナウイルスによる国内初の感染者発表から2年が経過し、この間、私たちは感染拡大防止のための対応に追われつつ日々変化する情勢の中で、情報の扱いについてもニュースタンド・ニューノーマルと言われる時代に転換しています。

建築士会に限らず、かつて世の中の情報は「会って話す」対面型と「繋いで見る（読む）」ネット型が共存する中で交わされてきましたが、コロナ禍を機に一気にネット型へシフトしました。

このシフトにより、日本人独特の「空気を読む」「以心伝心」「言わなくても分かる」などといった「言葉に頼らない意思疎通」が通用しにくくなり、情報を受発信する方法も大きく変化しました。

～ 「伝えること」と「伝わること」～

放送作家の故・永六輔さんが遺した「伝える努力よりも、伝わる努力をなさい」という名言があります。放送作家さんならではの言葉であり、私自身の生活環境でこれほどまで意識を高めて「伝える努力」をしなければならない場面には遭遇しませんが、今の世の中にとってもマッチした考えだと思い、最近

はなんとなく心の隅で意識をしています。

まずは、この会誌を手取るすべての方に「伝わる」ものを考えることを、今期の自分の取り組み目標としていきたいと思っています。

～ 建築の担い手の確保と育成のために ～

少子高齢化へまっしぐらの時代に追い討ちをかけるコロナ禍で、どの業界も人材確保に大変苦心されています。

私たち建築士としてできること、それは法律に定められたことの他に、北海道建築士会の目的である「品位の保持、技術の向上、業務の進歩改善、北方建築文化の進展」を柱とした各種活動、そしてこれらの業務や活動から生み出される個々の実績・経験・感動を、会員・ご家族・地域の方々に「伝わる情報」として発信し、担い手を増やし、末永く継承し続けることだと思います。

「建築士として」できるのではなく、「建築士だからこそ」できる「伝わる言葉」「伝わる画」「伝わる姿勢」を、これからも探り続けていき、まずは「建築士になりたい」若者や子ども達を少しずつでも増やすお手伝いをしていきたいです。

～ かわいい担い手 ～

先日、私の母校である市内の小学校から電話がきました。「6年生の総合の授業で、将来自分になりたい職業に就いている人に電話インタビューをするカリキュラムがあり、『公務員の建築職』に就きたいという生徒がいるので対応願いたい。」というお話でした。

ずいぶんとマニアックな職種を考えている生徒さんだと思ったら、その子は10年近く家族ぐるみで付き合いのあるママ友さんの子でした。

私もママ友さんも、子どもが幼いころから働き続けているので、その子は私との何気ない会話の中で「立花さんのママは、市役所で働いていて、建築の仕事をしている人だ」という認識が生まれ、それが「自分になりたい職業」に繋がったのかも知れません。素直にとっても嬉しかったです。

係長からは「小卒で採用しよう」なんて冗談も飛び出しましたが、あと10年、この子の夢を追うお手伝いをしながら、同業の仲間として働ける日を楽しみに待ちたいと思います。



富良野支部 支部の近況

事務局長
竹内 秀之



富良野支部で事務局長をさせていただいております竹内と申します。建築士会の皆様には日頃より大変お世話になっております。

この原稿を書いている時点で、まん延防止等重点措置等が3月6日まで延長されるなど、新型コロナウイルスにより様々な活動が制限されているところです。

その影響により各種会議も対面ではなくWEB等の開催により、なかなか膝を突き合わせて話をする機会や交流が少なく寂しい限りです。

さて富良野支部ですが1月に通常総会により今年度の活動についても承認されたところですが、このよう

な状況では『建築士の日』親睦ビールパーティ等支部の仲間が集まる事業開催についてはぎりぎりまで開催の判断がむずかしい状況となっております。

普段なかなか顔を合わすことができない会員との交流の場であり、お互いの近況についても確認できる場であること、そして何より新しい会員にとっては顔見せできる貴重な場でもあることから、コロナによる影響が早く収束し親

睦の場が開催できることを願うとともに、このような状況だからこそできる活動や、他支部の皆さんの活動状況について建築士会HPや会報誌等を通じて取り入れることができればと考えております。

ここ数年は皆様もお仕事や支部活動にご苦労されていることと思っておりますが、富良野支部も逆境をバネに活動を行っていきたくて考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



親睦パークゴルフ



令和元年度『建築士の日』親睦ビールパーティ

網走支部 まぼろし…

事務局長
松浦 満



このたび、20年ぶりに事務局長を拝命(官庁語?死語?…)した、松浦です。

永らく(平成20年から令和3年)、事務局長をされていた山口さんの後を、一時的に引き継ぐ事となりました。よろしくお祈いします。

さて、本題です。

昨年の1月29日、開催を1年延期して準備を進めていた、「第44回全道大会(網走大会)」がコロナウイルス感染症の収まりが見えないことから、残念ながら「中止」の決定となりました。

平成29年に網走での開催が決定以来、塩川支部長を中心に幾度となく準備をしてきたところだっただけに、本部の皆様もそうでしょうが、我々網走支部の無念の気持ちちは収まらないところでした。

「まぼろし」となった「第44回(網走大会)」について、未練を込めて少し書かせていただきたいと思っております。

その1 「第44回」全道大会

全道大会の開催について打診があった時点で、網走市が「北緯44度」にあることから、「44繋がり」で、「今大会は是非網走で開催させて欲しい」と、道東ブロックの皆様と、特に北見支部にはご協力をお願いした経緯があります。

その2 大会ポスター

当初から、「手作りの大会」を目指していましたので、ポスターについては石川俊樹さん(当時(株)石川建設常務、現在代表取締役)へ依頼し、網走の代名詞である「流水」をモチーフにされました。

その3 懇親会

全道大会のメインは当然「式典」ですが、その後の懇親会も「もう一つの式典」と考えています。全道各地の会員との交流と、そ

の準備に携わった支部会員同士の絆が深まるものと考えています。

余興では、私が所有している「70年代の私物楽器一式」で当時の曲を網走支部の会員で組んだバンドにより披露する事で準備もさせていただいておりました。(その後の大量の楽器は、「終活」で処分予定でした。)

高野会長と塩川支部長による「あの時君は若かった」の歌唱は、会場から大きな拍手をいただけるものと確信し、士別大会の時にお祈いしていました。

その4 最後に…

小さな街ではありますが、賛助会委員も含め、会員みんなで開催準備を進めてきたところでした。

「第44回」が、本年開催の「岩見沢大会」となるとの事で、我々の「44回」が、本当に「まぼろし」となってしまいました。

先頭に立って準備してきた支部長には、皆様から「ご苦労さま」と…。

道士会の動き

道本部の主な会議報告（3月）

- ◆第1回四役会議（web併用）
 (開催日) 1日(火)
 (議題) 1) 令和4年第1回理事会
 2) 令和4年定時総会
 3) その他
- ◆第1回理事会（web併用）
 (開催日) 4日(金)
 (議題) 1) 令和3年一般会計収支予算の補正及び流用(案)
 2) 令和3年一般会計事業報告及び収支決算(案)
 3) 令和3年特別会計事業報告及び収支決算(案)
 (監査報告)
 4) 建築士会継続能力開発(CPD)実績証明書
 一覧発行の運用(案)
 5) (一社)北海道建築士会創立70周年記念
 第44回全道大会(空知大会)収支予算(案)
 6) 第45回全道大会の開催(案)
 7) (一社)北海道建築士会二級建築士及び木造
 建築士登録等事務取扱要領の改定
 8) 令和4年定時総会の開催方法の変更(案)
 9) 定款第6条に基づく会員の入会承認(案)
 10) その他
- ◆第1回被災地応急支援委員会（web併用）
 (開催日) 5日(土)
 (議題) 1) 令和4年事業計画
 2) ネットワークの登録者増強と整備
 3) 各自治体と支部の協定締結推進
 4) 新規事業
 5) 机上訓練講師研修
 6) その他
- ◆第2回BIM推進特別委員会（web併用）
 (開催日) 11日(金)
 (議題) 1) 新オブザーバー紹介
 2) doBIM season5
 3) ハンズオンセミナー
 4) 委員会内勉強会(GLOBAL BIM)
- ◆第2回まちづくり委員会web会議
 (開催日) 12日(土)
 (議題) 1) 2022年北海道建築士会まちづくり会議
 2) まちづくり部会に係る意見交換
 3) 全道大会(空知大会)
 4) その他
- ◆第1回女性委員会小委員会（web会議）
 (開催日) 14日(月)
 (議題) 1) 『全道大会 A分科会 テーマについて』
- ◆第2回理事会（web開催）
 (開催日) 18日(金)
 (議題) 1) 会長、副会長、専務理事の選任
 2) 統括理事及び常務理事の任命
 3) (一社)北海道建築士会顧問及び相談役の就
 任継続並びに相談役の推薦(案)
- ◆令和4年全道青年委員会連絡会議
 (開催日) 26日(土)

本部の主な行事予定（4月）

- 2日(土) 第1回事業委員会
- 9日(土) 第1回情報委員会
- 16日(土) 第2回青年委員会

講習会・セミナーのご案内（4月）

監理技術者講習

13日(水) 札幌市

CPD認定プログラム(3月認定)

プログラム認定はありませんでした。

“会員専用ページ”でオンデマンド配信中!



■視聴方法：北海道建築士会HPの上記「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力

■4月パスワード：Sor018

お知らせ

建築基準法講習会をオンデマンドで北海道建築士会ホームページにて公開中

『実務に役立つ建築法規解説 2021』の「第1章 新しい動き」に関する内容・変更点等について解説した講習会動画となっており、どなたでもご覧いただけます。

5月からBIMハンズオンセミナー開催、無料 定員 各14名

詳細は5月号と一緒に案内をお送りします。

【第1回目】

- 5月12日 14:00-17:00 Archicad 未体験コース
- 5月13日 9:00-12:00 Archicad 初級コース
- 6月 Revit、7月 Vectorworks、8月 GLOOBE

編集後記

いよいよ春の足音が聞こえてくる季節になりましたが、現時点で新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が延長となっているところです。この号が発刊される頃には解除を期待したいのですが、想像もつかないところが何だか悲しいです。世界情勢も混沌としており、燃料高騰・物価上昇・資材不足等まったく明るいニュースが見当たりません。しかし、この号では難関の一級建築士試験合格者・二級建築士試験合格者の明るい声が皆様にも届けられ、未来を担う建築士を北海道から誕生させようではありませんか。この号を見たソコの諸君！貴方も未来の建築士を目指しませんか？貴方なら出来るはず!!

情報委員会 村山 賢司(中標津支部)

情報委員会委員長/森 勝利
 副委員長/前田 繁・立花智亜喜
 委員/今村 敏彦・境谷 香奈・角張 隆昌
 村山 賢司・徳留 裕敏

北海道建築士 No.296号

印刷 令和4年3月/発行 令和4年4月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
 大五ビル
 電話 (011) 251-6076番
 URL <https://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
 電話 (011) 811-7151番